

## 大雨に強い堤防づくりに向けた検討を開始

釧路開発建設部は、大雨に強い釧路川の堤防整備手法を検討するため、有識者からなる「釧路川堤防技術検討委員会」を設置しました。今回の委員会では、主に釧路川堤防の現地調査を行いました。

本委員会では、近年大雨による堤防の法面すべりによる被災が発生している釧路川※を対象として、雨水や洪水に対して堤防の信頼性を向上させる対策案の検討を行います。専門的知見を有する有識者による検討を通じて今年度中を目途に検討結果を取りまとめる予定です。

※予定している検討対象区間：釧路川本川の標茶町五十石付近から弟子屈町南弟子屈付近まで

### 第1回 釧路川堤防技術検討委員会の議事要旨

■日時：平成30年5月29日（火曜日）

・現地調査 10:00～12:00

・委員会 12:30～14:30

■場所：釧路川現地（標茶町開運付近）、標茶地区河川防災ステーション2階

■出席者：委員長 福岡 捷二（中央大学研究開発機構 教授）

委員 川尻 峻三（北見工業大学 助教）

〃 早川 博（北見工業大学 教授）

〃 林 宏親（寒地土木研究所寒地地盤チーム 総括主任研究員）

〃 前田 健一（名古屋工業大学 教授）

〃 森 啓年（山口大学 准教授）

〃 矢部 浩規（寒地土木研究所寒地河川チーム 上席研究員）

#### ■議事要旨

検討の対象となる堤防について現地踏査が行われ、今後の検討方針について議論が行われました。

（主な意見等）

検討を進めるに当たり、基礎地盤について、堤体内の水位上昇に関係することからその土質について一定程度平面的な調査を行うことその他、被災時の状況把握のため、降雨時の堤体内、基礎地盤の水位等の把握を行うことなどが提案されました。引き続き、これらの追加項目を含めた調査を進めるとともに、解析モデルによる検討など現象の理解や現状の堤防の評価、対策工法に関する検討を進めていくこととされました。



委員会の様子(H30.5.29 標茶町)



平成28年に発生した法面の被災状況(標茶町)